

「東京真田町の会」会報

日本タボス

平成13年12月25日



初夏の菅平

四阿山・根子岳を望む

日本の百名山 四阿山 標高 2,354m

花の百名山 根子岳 標高 2,207m

NO.

14

創立15周年に向つて

会長 三井芳郎



現状と将来像をお聞きすることが出来ました。美しい自然を残して発展しつつある、ふるさと真田町の様子に大変心強さを感じました。

会員の皆さんには益々お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。10月27日の第14回総会には、百余名の会員の方々と、真田町よりは箱山町長さん、佐藤議長さん他17名のご来賓の皆さんをお迎えして、盛大に開催出来ましたことは、皆々様の協力の賜と心より御礼申し上げます。

箱山町長さんより、真田町の

21世紀に輝く真田町へ

真田町長 箱山好猷



東京真田町の会々員の皆様、お元気でお過ごしですか。皆様の故郷真田町は21世紀に光り輝く町、そして、町民が誇りに思い、自信を持って子や孫に引継ぐことができる町をめざして生活基盤等いろいろな整備を進め、次々と完成を見ております。その一例を揚げますと、平成

10年度から11年度にかけて真田中学校の全面改築に取組み、パソコン教室や音楽室等全国に誇れるいろいろな施設を備えた新真田中学校が誕生致しました。平成12年度には、本原小学校屋内体育館、菅平小中学校特別教室、傍陽保育園と子育て支援センターを併せた多機能保育施設、自立はしていても一人暮らしに不安のある方々の生活をサポートする独居高齢者集合住宅、本原南地区水洗化のための農業

節目の総会を迎えます。これも偏に、会員の皆様のご協力と、真田町のご支援のお陰と深く感謝申し上げます。第15回の総会が平成14年6月16日(日)に決まりました。種々の趣向をこらして盛大で楽しい総会にしたいと考えて、着々と準備をしております。詳しくは4月に発行される「しらかば通信」第6号でお知らせ致します。

会員の皆さんには友人知人をお誘い下さり、大勢の方がご参加下さいますよう、今からお願い申し上げます。この度、真田町のご好意により、東京真田町の会のホームページが真田町のホームページと集落排水本原南終末処理場がそれぞれ完成し、長野県の協力をいただき、傍陽地区の住民にとつて10数年來の念願であった萩と曲尾の間の洗馬川にかかる中村橋に、歩道橋ができました。

今年度は、菅平小中学校屋内体育館が近隣にはない遠赤外線暖房施設を備えた体育館として誕生、傍陽小学校のトイレの水洗化に伴う改築も完成いたしました。また、長野県のご理解により、菅平の人々にとつて20年來の夢であった、大日向から菅平に通じる国道406号線のヘアピンカーブ菅平2号橋の架け替えて深い谷をまつすぐに渡る短絡橋(96メートル)の工事

の中に開設されました。

皆さん、真田町のホームページを開き下さい、ふるさと真田町の情報が一杯入っています。その中で更に「東京真田町の会」を開き下さいますと、当会の様子が詳しく出ています。真田町のホームページアドレスは13頁にございます。

先日、総会を思い出すと、会員が久しぶりに会った友人やふるさとから来て下さった人達と和気あいあいと語る姿。又、毎年この総会を楽しみに待っていたと云う多くの人達の会話ははずんでいました。

まるで、真田町が東京に移つて来てるような感じがですと云うも完了し、新しく「猿飛橋」が竣工致しました。

全町水洗化をめざして進めてまいりました下水道工事も13年度中には完了致します。さらに、真田町を日本のオアシスとするための「森と緑やすらぎ空間構想」の中核をなす「中山間地域総合整備事業」も、やすらぎのある農村景観の創生と農業振興を目的に、田んぼの土地整備、農道整備と農村公園や観光農園をめざして、5年間で13億円の事業費で推進しています。

また、皆様が親しんだ里山をよみがえらせ、真田氏の城跡を観光資源として活かすための「森林空間整備事業」も、3年

人。真田町に行つたような気がする。こうして年に一度でも、健康で、ふるさとを同じくする人と親しくお会い出来ることは誠に幸せなことです。

私達は日本一のふるさとを持つて幸せです。私達の会、東京真田町の会も日本一です。

会員の皆さんには、健康に一層留意をされて、次の総会にも是非ご出席下さいますようお願いいたします。

最後に、会員の皆さんの御健康を節にお祈り致しますとともに、真田町の皆々様の益々の御健勝をお祈り申し上げご挨拶いたします。

間て1億5千万の事業費を充てて進めています。

20世紀は、便利さを求めて都会へ都会へと人口移動が行われましたが、21世紀は自然と向き合う生活を求めて、地方へ地方へと人口移動が行われるであろうと予測されています。そのような時代を先取りし、また、首都圏から2時間足らずの時間的距離にある有利さを活かして、住むなら真田町、子育てするなら真田町、と言われる町として、今世紀に輝いていきたいと願っております。

東京真田町の会々員皆様のご支援をよろしくお願い致します。

ふるさと真田町から

真田町議会副議長



三井博文

真田町議会副議長に選出されて以来、早くも一年が経過致しました。

その間、町民の皆様始め議員諸氏、行政の方々の御協力を頂き乍ら、その任にあたって参りました。今後も町民の皆様から期待され、信頼される議会運営を目指して、努力して参る所存でご座居ます。

去る10月27日、東京真田町の会の総会及び懇親会がご盛会に開催されましたことを心より御祝い申し上げます。

生を受けて以来、故郷を離れた事のない私にとって、都会に根を張り、艱難辛苦を乗り越え、堂々と生活の根柢を構えて居られる皆様方とお会いする度に、敬意を表すると共に、眩しい目で見ています。

会場において、皆様の故郷に寄せる熱い思いを聞くにつけ、故郷を守る私達の責任の重大さをひしひしと感じて帰って参りました。今、町では、第4次長期振興計画後期計画策定に伴い町長が先頭に立ち、各区を巡回

し、懇談会を開催しています。

町の未来、在るべき姿について、町民の皆さんと膝を交え、社会変化に対応し、かつ、地域の特性を生かした計画を樹立するため、地方財政制度や市町村合併をめぐる、最近の議論を踏まえながら、21世紀の真田町の在るべき姿について話し合いを行っております。

地方分権一括法が昨年4月施行され、地方分権がいよいよ実行の段階となりました。自己決定と自己責任の原則のもと、住民に身近なサービスの提供は、各自自治体で責任をもつて選択される事が求められる時代になって参りました。

議会と行政が両輪となって「限りなく伸びゆく真田町」「皆様のふるさとを誇れる真田町」を目指して、精一杯努力して参ります。

東京真田町の会の皆様方の御指導、御鞭撻を賜ります様、心からお願いを申し上げます。

結びに当たり、東京真田町の会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げ、ごあいさついたします。

農業委員会長就任のあいさつ

農業委員会長



伊藤忠治

真田町は五月農業委員会の改選、私が会長に就任致しました。

浅学では有りますが一生懸命努力し真田町の農業の発展に勤めて参る所存で御座居ます。東京在住の皆様にも御支援を賜りますようお願い致します。

さて、その昔の日本の農業を想う時、日本の国は、瑞穂の国と云われ、家族全員で農作物を作り自給し乍ら楽しく生活を送って参りました。

その後、日本は高度な経済成長期を迎えて、若者は工場への勤めとなり、三ちゃん農業へとなり、工業製品の海外輸出が多くなつた見返りに、日本でも不足しない農産物が輸入され、水田の40パーセントが休耕田となつて居り、私共農業者にとっては残念でなりません。

日本の食料自給率は40パーセントとなつて居りますが、世界の人口は年々増加して居り、20年後の世界の人口は40パーセントも増加すると云われていて、海外の農産物の輸入も望めないと思われる時が参ります。人は

食が必要です、一日も生きられませんか。

そんな時に備えて、私共農業委員は一致団結し、遊休荒廃地をなくすよう農家の皆さんに、転作作物を作つていただき、いざ食料不足の時には常食の米が栽培出来るよう農地を守って参ります。

日頃は真田町の農産物御利用いただき感謝して居ります。今後共皆様方郷土の農産物を御利用下さる様お願い申し上げます。

先日は東京真田町の会に出席させて頂き、有意義にすごさせて頂きました。

懐かしい皆様にお逢い出来ました。郷土真田町を愛していただく皆様に心から感謝申し上げます、会長の立場として少し近況を申し上げます。東京真田町の会の御発展と会員皆様様の御多幸を御祈念申し上げます。



全中スキー大会室からお知らせ

「第39回全国中学校スキー大会」が来年の2月5日から8日まで、真田町菅平高原で開催されます。

この大会には全国各地より厳しい予選を勝ち抜いた選手をはじめ、監督・役員・コーチの皆さん、総勢約3千名が来町する予定です。

菅平での全国規模の大会は初めてですが、スキー場としての長い歴史と各種競技スポーツのメッカとしての誇り、そして心のこもった温かいおもてなしで、お越しいただいた皆さんの心に残る大会になるよう、各方面からのご支援、ご協力を得て現在準備をすすめています。

この大会を通して真田町の素晴らしさを全国の皆さんに伝えられれば、と思います。



ふるさと訪問

鈴木邦子

(横尾出身)

六月二日(土曜日)、前日迄は雨だったが、朝から蒸し暑さもない、晴天にめぐまれ、会員十名、ワゴン車に乗り、荻原理事さんの運転で元気に新宿を出発。

練馬から高速に乗り、藤岡、碓氷峠、佐久、上田、と車中やかな笑いがとびかうなか、時折車窓から眺める初夏の緑に一同感嘆の声。

ふるさと訪問は二度目の参加であったが、この道は幾度となく里帰りの際往復したもののだが、何回通っても、峠の眺めは四季折々、何とも嬉しいものです。

楽しく話はずむうち、早くも須坂に着き高速を降り、戸隠に向かった。

「信州信濃のそばよりも、私はあなたの側が良い」と云い乍ら、やはりおそばは旨かった。戸隠神社近くに老舗の「仁王門屋」さん有りとの事、お邪魔しました。



一同お腹をすかし、本場の手打ちそばに舌づみ、もう言葉はない。ひたすら、ざるそばは山菜の天ぷら、そばだんご。これが又絶品。大満足の昼食を頂き、幸をかみ締め話に花がさました。

当初の予定では、山菜とりを楽しみはずであったが、苦しくも雨がパラツキ断念することになった。しかし、雨はすぐに止みました。が、一路松代に向かった。

松代駅から、三分程の所に建在する「真田宝物館」を見学する。

戦国の世、真田一族の熾烈な戦いを物語る、数多くの資料が展示されており、ボランティア

活動をされていらつしやる小幡様が非常にわかり易く説明してくださいました。

国定重要文化財である「青江の大刀」(県宝指定の「秀吉の三原の刀」又、武田、豊臣、石田、徳川の歴代の古文書等々数多くありました。

次に旧真田邸を見学。これは、九代藩主幸教が、母お貞の方が帰国後の住いとして建立し、老後過ごされた。城外御殿として建てられたもので、例のない建物だそうです。

これを真田家十二代幸治氏が、昭和四十一年に松代町に寄贈されたものだそうです。かなり老朽化していましたが、きれいに掃除されており保存の大変さを物語ってありました。

まだまだ数々の史跡やら、著名人の記念館等もありましたが、時間もなくなり松代を後に、宿泊先の菅平に向かった。

夜は、箱山町長、芳沢情報政策課長、若林課長補佐、三氏が歓迎にいらして下さり、町長の熱意有るお話を頂き、中でも老人福祉関係にお力を入れていらしゃるとの事でした。その後、和気藹々、楽しく賑やかな交流会となった。

翌日は、早朝より素晴らしいグリーンに囲まれ、マレットゴルフを楽しみ汗をかいた。その後、山菜採り、ニジマス釣り、

童心にかえりしばし年を忘れてしまった。

昼食は、山菜の天ぷらづくし。交代で揚げた天ぷら、自分達で釣り上げたニジマスの塩焼。空気が美味しい自然の中でのバーベキューは、一層楽しさと、美味しさを引き立て、くれました。

午後からは、菅平高原カントリーフェスティバルへの参加。

牛の丸焼に町長自ら包丁を入れ、長い列をなし焼上がるのを待っていた多勢の方々に配られていた。

又、山菜の天ぷらに舌づみ、みをつつ人、お酒を飲んでいる人、歌っている人、物産店で買い物をする人、モトクロスショーを観る人、盛り上がりつつありましたが、帰りの時間になってしまった。

我がふる里の六月は、お花がいっぱい、ライラック、藤、桐、レンゲつじ、おまつまり、ヤマボウシ等が沢山咲いており、私たちを迎えてくれ、又、



帰りにもそこかしこで優しく見送ってくれていました。

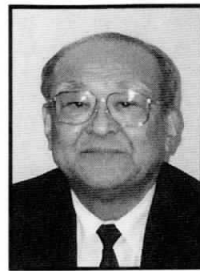
又来年も会いましょうを合言葉にお別れ。誰とわなしに、「もつと多勢の方達に幸せを分けたいね」との言葉……それぞれ楽しい想いを胸に、家路に急ぎました。お骨折りくださった荻原さんに心からありがとうございます。

堀篁道子

(中横道出身・旧姓上原)

埼京線の眼下に延びる外環道 故郷信濃あなたにあるを金の陽にかくも明るくひまわりは 信濃の蒼き空突き抜けて茶髪子 つえ突く人に席をたち車内のなごみ君へのエール

副会長 荒木孝一さん追悼



荒木孝一さんは十月二十七日胆のうがんで永眠されました。七十三才でした。ご家族にとつて

大変な悲しみであり同時に当会にとつても掛け替えのない人材を失い誠に残念でなりません。

四年前に動脈瘤の手術をされた後、奇跡的に完治されて、総ての会合にも出席されゴルフもずいぶんやっていました。

しかし、今年になって肝臓、胆のうの手術をされました。荒木さんは「痛みも何もないのに知らぬ間に病気が進行してるらしい。今まで三十年間、年二回の定期検査をしていたのにほんとに不思議でしかたない。しかし、悪いところは全部とつてもらいいました、今年一年はお酒をやめますが来年からはゴルフでも何でも皆さんと一緒にやります」と楽しみにしていました。そして「今年の総会には無理をしても出席したい」と云っていました。

十月十七日に電話をくださり、「私が送っていた」小泉内

閣メールマガジンは最初から全部読んでいます、しかし最近テレビを見るとチャチャしてどうも疲れるようになりました、通院するのが大変だから明日入院しますので総会には出られないかと思うのでよろしく」と云って居られました。

亡くなられる前夜は遅くまでご家族の皆さんとお話をしていました。

十月二十七日の朝、苦しみも痛みもなく、悠然として永遠の眠りにつかれました。医師団の万全の治療と御家族の皆さんの必死の看護も空しく癌には勝てませんでした。

荒木さんは十四年間副会長として活躍くださいました。数年前に新菱電機株式の社長を退いたのを機に、私達は荒木さんを何回も会長に推挙しましたがお引き受けしませんでした。

「私は会長以外でしたら何でもやります、お手伝いします、縁の下の方持が良いのです」と云うのがいつものセリフでした。

荒木さんは威風堂々としていました。あの正義感に燃えた風貌といつもやさしいまなざしで話す温和なお顔は忘れることができません。荒木さんの在りし日を忍び心からご冥福をお祈り申しあげます。

平成十三年十一月

会長 三井芳郎

私のふるさと 堀内秀夫

(下横道出身)



私は埼玉県の東はずれの杉戸町に転居してから丸6年、毎日決まった時間に同じ道を通り、市役所で仕事をしています。

帰り道、防災無線からの鼓膜を破りそうなチャイムで『故郷』のメロディーを聞く。騒音とも思えるような音量で子供達は大きくなり、大人になって『ふるさと』と問われたとき何と答えるのだろうか？ 考えてしまう。

自分の子供の頃はどうかだったのだろうか、目を閉じかすかに思い出すのはお昼と夕方のサイレンの単調な音。しかし、この単調な音が深い山々にこだまし、情緒あるものとなり生活の中に浸透し一日の活動サイクルの元、生活の原点だったような気がする。そう考えると防災無線の音も時間がたてば同じなのかもしれない。

現在は生活面まで何かと規格化され、毎日同じ時刻に寝起きし、時間に追われ、あくせく働き、体が知らないうちにそれに

染まっていく、これが現代人なのかも知れない。見方を変えるとこれが都会に住む人という証しなのではないか。

都会の雑踏をのがれ、長野高速を湯の丸インターで降り浅間サンラインに入りのんびり走ると、野菜や果樹園の脇を通る。つい最近まで、垣根や棚は無かった。友人を連れて通った折り棚がないことに驚きの声をあげた。これが私の故郷、信州なのである。

ところが、最近は垣根が帰省のたびに増えているような気がする。これらは、交通便の発達からか、人心の荒廃によるものか、農家も自衛策の行使に移ったものだろう。

そんな心に何をか訴えようと道路端にコスモスや真っ赤なサルビアなど草花を植え、旅の途中の風景に良く似合うのは何とも言えない、心が休まる風情である。真田町に入り実家が近づくと棚などの無いリンゴ畑が見えてくる、自慢の故郷感にひたれるときである。

つい先日、ビデオカメラを手に田舎の秋を探しに行ってきた。しかし、秋はほんの少し前に通り過ぎ木々の葉に華やかさはなかったが、落葉松のみが金色に輝き、山肌を飾っている。近づいて見ると細かな葉が、梢にしがみつき風に細かく震えて

いるのなかなか見事であった。夕食は幼い頃から食べ慣れた料理をいただき、腹こなしに外に出る。冷え込みが厳しく、体がブルッと震えるのを我慢しながら夜景を楽しむ、見上げると晴れた空にたくさん星がまたたく、中でもオリオン座が東の山を越えて出てくるのを見つけ、なにか楽しい発見であるかのよう嬉しくなる。

この寒さは、翌朝、辺り一面、霜で真っ白、余りの寒さに被写体さがしも適当に切り上げ、炬燵にしがみつく。

日が高くなつてから山の畑に行く、途中には荒れた田畑が増加し、つる草におおわれているのを見るに、時代のせいとは云え寂しい限りである。

リンゴ畑では、枝もたわわに実り、カメラを向けると、その一つ一つが太陽を受け真っ赤に輝き、ニコニコ笑い、甘酸っぱい匂いを漂わせる姿を次から次へと写していく。

これが一段落したら、リンゴをもぎ取り、遠い子供の頃の思い出や、作った人の心をも、一緒に口にすれば、ほっぺも落ちるほどのおいしさである。幾つかを土産に頂戴し、私の、『ふるさと』真田町の味をビデオと共に孫や都会の人にはんの少しづつだが分けてあげようと思います。

菅平高原スキー場開設75周年に思う

菅平高原観光協会 理事長

小島 好憲



スキー抱えてホテルの一夜、明けりや馬そりの鈴音はるか：と今でもリフト開始の8時半頃、この歌が放送されます。

昭和2年、菅平スキー場が菅平スキークラブを発足。昭和5年、スキーの名師ハンネス・シユナイダー菅平に来る。昭和11年、菅平シーハイルが創られた。

菅平高原の観光地としての第一歩は、スキークラブの発足をもつて出発点とする事を考えますと、実に75年の歴史の上に私たち観光客に携わる者達の生活があることを感謝しなくてはならないと思います。今では都心から3時間で訪れる事が出来る菅平も、スキー場開設当時は冒頭に紹介した歌の様に馬そりが冬の交通手段であり、上田から菅平までが3時間の道のりでした。

名もない一農村を日本全国に知らしめる為、鍬や鋤を持つ手にチラシとストックを持ち、駅前でシーハイルの曲にあわせ、踊りを踊りながら宣伝に走り回った明治男達の気概を思うとき、今の菅平にはその豪快さが無く

なりつつあるのが、時代の流れとはいえ寂しさを感じます。

東京真田町の会の会報が「日本ダボス」と言う名前で刊行されていますが、菅平が日本ダボスと呼ばれる様になったのも昭和3年のアサヒグラフという写真雑誌に「冬の信州」という特集で菅平を紹介する時、当時の地元役員がすでに名声を得ていたスイスのダボスの名を冠し「新国設スキー場日本ダボス菅平高原」と紹介したのが始まりとされています。

尚、2002年は菅平の開拓350年の記念の年でもあり、この数字は先の75年を包括した正に菅平の歴史の区切りの年でもありますので、菅平でも何か記念に成ることを行おうと考えています。

真田町を離れ東京に住まわれる皆様の理想の故郷となるよう、菅平も常に「温故知新」の心を大切に歩んでいきたいと思っています。皆様方におかれましては、東京真田町の会がより活発になり、すべての真田町出身者が寄り添える大樹と成ることを祈ってやみません。

男女共同参画の町づくりをめざして

さなだ男女共生町民の会 会長

坂口 久美子



第十四回東京真田町の会総会にご招待いただき、一瞬とまどいました。「私達男女共生町民の会がどんな風に理解してもらえるのかな」と思ったからです。

朝七時すぎ、総勢十七名（女性五名）町のマイクロバスで東京へ出発しました。予定通り到着。

胸に団体名と名前の名札をつけて入場する、総会に先立ち、会員の皆様の前で紹介をうける。そして各グループごとのテーブルに一名ずつ着席し、総会がはじまりました。緊張の内に終了。

次は歌手、諏訪ひろみさんの歌謡ショーです。楽しいトークとふるさとの歌・流行の演歌に聞き入りました。気分はずいぶんほぐれていましたが、会員の皆さんとのかかわりは全くなかったのがコチコチでした。

いよいよバイキング方式の昼食をいただきますがらの懇親会のはじまりです。「男女共生町民の会って、どういう会なんですか。」とななめ向いの女性会員

さんが話しかけてきました。大まかにお話すると、「あー、そういうことだったんですね。私の地域でも取り組んでいますよ。」と話がはずみます。

「女の人もがんばってもらわなくては...。」と、となりの男性がポツリといました。「私は退職しましたが、家内はまだつとめています。今は私が家事をしていますよ。」とそのとなりの男性が話に加わりました。

「退職してからは、一週間のうち四日はボランティアをして、あとは野山を散策しています。」今日、初めてお会いした人と、こんなに自然に話ができるなんて。

物質的豊かさのみを追求し続けてきた日本の社会。本当の「豊かな生活」とは何か。男性の生活権を大切に、女性が安心して働き続け、子供が産める社会。それは男女参画社会を実現することなのではないか。『もつと多くの会員さんと話したかった。』名残をおしみつつ、帰路につきました。

荒木孝一副会長を悼む

清水 清晴

10月27日午後9時30分ごろ、そろそろ寝ようかとしていたところに、「荒木副会長が亡くなられた」のFAXが入ってきた。びっくりし、半信半疑でその夜は朝まで寝ることが出来なかった。

荒木さんは、昭和63年、「東京真田町の会」発足時より、副会長に就任され13年余、毎年の総会、ふるさと訪問、ゴルフ等の行事には率先され、「東京真田町の会」の発展に大いに貢献されました。実に残念です。

荒木さんは、大柄な体に似合わず、お話する時の言葉は温厚で、柔らかい言葉遣いは、周りの人を引込んでしまう魅力があり、人柄の良さがありません。

又、荒木さんは愛妻家でもあり、旅行の時「今かあちゃんなにをしてくれるかな」と電話をしていた事もありました。

東京真田町の会創立以来、行動を共にしてきた間柄。まだまだ、沢山の思い出がありますが.....

親しい友を失い残念至極です。終りにあたり、荒木孝一さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

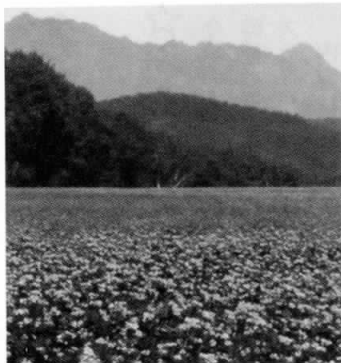
或日 鎌倉にて



昼時は、少し過ぎていたでしょう。

「信州手打ちそば」の看板が目にとまり、のれんをくぐると、「奥にお二人様空いております」の声、座っている客の間を通り、壁際の隅に静かに腰をおろす。向いの女性客は、そろそろ食べ終わる頃の様子でした。

あまり明るくない店内を見回すと、私の左肩の砂壁に「鎌倉」七里ヶ浜の磯伝い、稲村ヶ崎名將の歌詞が、色紙程の和紙に手書きされたものが無造作に貼られてあるのを見て、私は思わずその美しい筆跡と歴史ある、鎌倉の町を愛する人々の心に打たれ、目を追っていると、隣の相棒もうなづきながら見入っております。



滝沢富志子

(下横道出身 旧姓半田)

前のご婦人も貼紙に時々目をやりながら「昔学校の本にあったよ」「変なこと言わないで」どうやら前の二人づれは母娘らしく、「本当だよ」「ばかなこと言っていると笑われますよ」

そんな母と娘の会話にソツト「私達も昭和一桁ですから小学校の教科書にありましたよ」と言うとお母さん時々惚けた事言うもんですから。本当は、まだ惚けてないんです」

お年は八十七才とか、都合の悪い時は惚けたふりをして、娘に甘えられる可愛いおばあさんなのだと...

立去る後姿に、「どうぞお元気で」と声をかけると丁寧な頭を下げて店を出て行く母と娘さんでした。

微笑ましい母と娘に出会えて、心温まる思いで私達は、無言でそばをいただき店を出ました。

店を振り返りながら、このそば屋、ガイドブックにも載っている店ではないか、そんな事を二人で話しながら、やっぱ明治の母が、水車で挽いた粉で一生懸命作ってくれたそばが美味かった。

あれが本当の「ほんまもん」母を偲び、故郷を懐かしみながら、紅葉にはまだ早い鎌倉をあとにしました。

東京真田町の会に出席して

壬生とりよ

(戸沢出身 旧姓宮島)



暑い夏が過ぎ初秋の風が吹き始める頃になりますと毎年真田町の会の通知を頂きます。いつも何かと都合がつかず出席する事が出来ませんでした。今年始めて参加させて頂きました。

交通の便も良く華やかな近代的なアルカディア市ヶ谷の会場での集まり、どんな方達とお逢いする事が出来るかしらと、少し不安と期待を抱きながら会場に向かいました。

故郷を離れて幾年の月日が流れた事か。年を重ねる毎に、山に囲まれた真田の山や川の風景が胸に浮かび、あの生れ育ったふるさとに、想いを馳せる日が多くなりました。

テレビや新聞等で、信州とか真田という言葉を目にしたり、目に触れますとつい深く見入ってしまいます。

今は一時間半で真田に行く事が出来ますが、私が上京した時代には三時間もかかり、故郷をとてと遠くに感じられました。雪に覆われた菅平の山並、四季折々の移り変わる風景、豊か

な自然の下で遊び回り、学び育った故郷がある自分がとても幸に思います。

会場での和やかな雰囲気の中にすぐ解け込み、町長さんの御挨拶、町の活性化と発展のため、一人一人が力を尽くしていられるお話。

懐かしい人達と語り合い、お名前を伺っただけですぐに子供の頃の面影を思い出し、同じ郷里を持った人達との、親密感で楽しいひとときを過ごしました。

又歌手の諏訪ひろみさんの素晴らしい声量のある歌謡ショー、明るいホールでのシャンデリアに照らされて歌われる姿には感激しました。最後に皆で輪になって「真田音頭」を踊り「ふるさと」を合唱して又の再会を約束しました。

この様な会を毎年運営して行かれる役員の皆様に深く感謝して来年も出席したいと願っております。

楽しい感動と笑の集いどうもありがとうございました。



信州雑感

野村勝太郎

(大日向出身)

真田町には毎年三・四回は帰っているが、あらためて県内を旅行することは殆どなかった。

そんな私と妻が入会している「練馬区長野県人会」では毎年信州訪問旅行を、北信・中信・南信・東信に分けて企画してくれ今年で九回目。毎回参加していて、今年も夫婦で参加した。戸隠・野尻湖・斑尾高原・松代大本営跡地下壕をまわってききました。

戸隠神社奥社まで、徒歩で往復すると一時間半位かかる。奥社に着く頃には少々汗がにじんでくる。家内安全を祈願して、バス乗り場まで帰る頃には少々疲れてきた。バスに乗る前におみやげ屋で一休み。そこで飲んだ酒のうまかったこと。

中社まできて名物の戸隠そばを頂くと、故郷のおふくろの味を思い出し、あらためて故郷の良さを実感して帰ってきました。信州もすみずみまで、旅をしてみると、広いところだとつくづく感じました。

春には山菜とり、夏はお盆、秋にはきのことりと、何年も楽しんできたが、この先も、健康であるかぎり続けたいと、妻と語り合うこの頃です。

各部の活動報告

☆ふるさと訪問

今年のふるさと訪問は昨年と同様の菅平高原カントリーフェスティバルに合わせて行われた。内容は4ページの鈴木邦子さんの「ふるさと訪問」を参照して下さい。

参加者 三井会長・塩沢副会長・大久保治夫妻・荻原啓治・川上年美・岸 俊子・小林正子・佐藤ムネ子・鈴木邦子

(敬称略) 計10名
記 荻原啓治

☆スポーツ

◎ゴルフ同好会だより

(一) 東京真田町の会親睦ゴルフ大会は、平成13年3月25日、群馬県緑野カントリークラブで24名参加で開催された。この大会はふるさと真田町との好流親善大会の意味から、町から参加12名あり、チーム対抗戦は真田町チームの勝利、個人優勝は田中出身の佐藤宏次氏でした。

(二) 真田町民ゴルフ大会は、平成13年6月24日、菅平カントリー倶楽部で開催され、東京真田町の会から9名参加、シニヤ賞堀内福氏(全体三位)、七位に佐藤宏次氏、D賞永井哲夫氏と大活躍でした。総参加者117名。

(三) 東京真田町の会親睦ゴルフ大会は、平成13年10月5日、群馬県プレスカントリークラブで22名参加で開催された。優勝は下原出身の飯嶋慶三郎氏でベスグロ賞79とすばらしい成績でした。

※ゴルフ同好会からのお知らせ
ゴルフ同好会を発足しましたので、ゴルフをやりたい方はご連絡ください。現在会員数四十三名。今後の予定

春は、平成14年3月27日(水)
夏は、平成14年6月

真田町民ゴルフ大会
秋は、平成14年10月を計画しています。ふるつて参加下さいますようお願いいたします。

申し込み、問い合わせ先
堀内 福

042(958)1578

飯嶋慶三郎

042(221)8594

090(3514)3502

◎マレットゴルフ

同好会だより

今年から同好会として活動することとなり、春、秋の二回楽しんだ。

春は5月20日参加者(敬称略)
清水清晴、岸 俊子、武田守央、佐藤ムネ子、堀内 福、大久保治夫・三八子夫妻 7名

秋は11月17日

荻原啓治、岸 俊子、滝沢みさ



(写真は秋の会)

子、布施京子、持田みさ子、堀内寿美・幸子夫妻 8名

今回、堀内寿美夫妻が入会され会員数が24名となりました。

両日とも、小春日和の天候に恵まれ、プレー後の恒例となった車座になったの昼食会、各自持寄った煮物、漬物、をつき合いながらの歓談は時の過ぎるのを忘れてしまう、マレットゴルフならではのもう一つの楽しみ。

来年は5月、9月、11月の3回を予定しています。詳細は決まり次第連絡します。

入会ご希望の方は大久保まで

TEL・FAX 0426・77・7113

記 大久保治夫

東京真田町の会の皆さまへ

おもちゃ図書館「くるくるさなだ」代表

神田 佑子 (横尾)



皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

うららかな小春日和の続く中今、故郷の信州では冬支度の準備の最中です。

十月二十七日の総会の際には、楽しい時を過ごさせて頂き有難うございました。

今の社会に失いつつある人と人とのつながりの深さと、何とも云えない温もりを肌感じて帰宅致しました。

皆さまとは、初対面の私でしたが、温かく声をかけて下さいました。義弟妹の幼なじみの方が多くおられ、私の婚家へ、昔よく遊びにこられたとかで懐かしそうに話されていたのが印象的でした。

今回、私は、真田町に数多くあるボランティアグループの一つ、おもちゃ図書館「くるくるさなだ」の代表として参加させて頂きましたので、「くるくるさなだ」の活動についてお知らせ申し上げます。

このおもちゃ図書館は、平成十年四月に、皆さまの御支援を

得て、元、本原保育園の一室に開館致しました。おもちゃを媒介として障害をもったお子さんを中心に子ども達と親とそしてボランティアの人々と交流しながら育ち合い支え合っていくことを願って活動しています。

開館にあたり、全国おもちゃ図書館連絡協議会を通して、三カ所の財団から寄贈、寄付を頂きました。何よりも有難かったのは町のふれあいバザーの売上げの一部を頂き、新しいおもちゃをたくさん揃えられたことでした。

このように町の社会福祉協議会の御支援を頂きながら毎月第二、第四土曜日の午前中にボランティア三名で当番をし、親子で来館される方々と交流します。皆さんは、自分の好きなおもちゃを選び二時間ほど遊び、帰りには、おもちゃを借りて帰られます。じき十二月には、クリスマス会があります。

自然の美しいこの町で、人の和に恵まれ、ささやかな活動ではありますが続けていきます。

東京真田会の皆さまの御健勝をお祈りしつつ。

東京真田町会親睦ゴルフ大会

ゴルフ当番委員 飯島慶三郎

秋立つ十月五日、荻原啓治さんの車に、三井会長と同乗させていただき、午前六時ジャストに練馬インターより関越自動車道にて、三井会長の紹介による（群馬県安中市）「プレスカントリークラブ」に向かう。

途中今にも泣き出しそうな空は、鶴ヶ島インターあたりから、ポツポツとなり、やがてワイパーが必要となる雨に変わってしまった。私は心の中で「まいったなあー」皆んな楽しみにしているのに……。又私自身の鼻に一粒の雨があたってもやる気が萎えてしまうのに……

と、もやもやしながら同乗しておりました。それでも、前橋インターを出て、安中榛名の果物畑にさしかかったあたりから、廻りが乳白色に霧って、雨が霧と変わり、天気予報の正確さに感謝し、又、やる気ができました。

「プレスカントリークラブ」は始めてのコースなので、心待ちどうしく廻りの景色もそぞろに進んで行くと、榛名の丘陵地帯にそれはありました。

本家真田町より柄沢助役以下七名、会員十五名がチェックインし、計二十二名でのコンペとなりました。

八時三十分、アウト・インにそれぞれ三組ずつ、乗用カーに分乗し決戦の火ぶたは切っておとされました。

コース状況はフェアウェイは平坦ですが、適当なうねりを見せて、両サイドは雑木にセパレートされ素晴らしいコースでした。ただ私達人人には細かいアンジュレーションのある高速グリーンは非常に難しかったという印象でした。

春と秋行なわれる親睦ゴルフですが、いつも本家真田町の皆様に優勝をもっていかれ、東京真田町の会の会員のメンツがまるでありませんでした。でも今回やつとお情けで会員の面目がたちました。ありがたい事です。ここに会員の皆様に胸を張って御報告いたします。

さて懇親パーティーを三時より同クラブ2階にて行ない、その席上最年長（大正七年生）の半田幸弘様が七位に入賞され、スピーチをいただきました。

昭和四十年に霞ヶ関カントリークラブのメンバーとなり、ホールインワンを三回出し、飯能ゴルフクラブのロングホールで第二打がピン十センチメートルであわやアルバトロスかという、非常に残念な一打が、今で

も心に残ると言っておりました。

また、三笠の宮殿下と程ヶ谷カントリークラブで御一諸にプレーする機会があった時は非常に恐縮に思ったとの事です。

ただゴルフはいかなる場所・場合においてもルール・マナーさえ守っていれば、何処でも誰とプレーしようとも恐れる事は無いとも、おっしゃっておりました。

半田様のお話には、洒れた年輪を感じ、心からゴルフを愛し、そして楽しんでる様子が有りありとみえ、私もあの人の様なゴルフに対しての触れかたをこれからはしたいと反省をこめ考えさせられました。

ゴルフも国体競技にスポーツとしてとりいれられ、ますます、その認識を広めていく事と思われます。

又、来春の親睦ゴルフにおいて、皆様のお元氣なお顔にお会いするのを楽しみに増々ゴルフ道に精進するつもりであります。



成績表(新ペリア)

順位	氏名	OUT	IN	Gross	HDCP	NET
1	飯島 慶三郎	38	41	79	6.0	73.0
2	永井 哲夫	43	40	83	9.6	73.4
3	佐藤 宏治	47	45	92	18.0	74.0
4	山崎 寿雄	53	57	110	36.0	74.0
5	柄沢 衛	38	43	81	6.0	75.0
6	合葉 啓	45	50	95	19.2	75.8
7	半田 幸弘	48	53	101	25.2	75.8
8	堀内 福	38	44	82	6.0	76.0
9	洪沢 忍	42	43	85	7.2	77.8
10	芳沢 孝夫	49	48	97	19.2	77.8

くるみのおはぎ

所 け さい



毎年六月十日の夕食に、欠かさず添えられていたのは「くるみのおはぎ」。私の誕生日を祝うメニューの一つとなっていた。とりわけ、大好物と言った覚えも無いが、今様のバースデーケーキならぬ「くるみのおはぎ」で祝ってくれたのは、養蚕農家の多忙な母のせめてもの心尽くしであったと思われる。

ふるさとを離れてからも「くるみのおはぎ」は私のメニューとなつて、友だちが

（中横道出身 旧姓堀内）
集まると、きまつて、「春夏秋冬を問わず、おはぎとは……」ト言い訳しながら、振舞っている。なかなかの好評である。しかし友だちの中には、私の料理の腕前と言うよりも、くるみの品質の良さと主張する始末。

何年か前のことである。或る新聞の「おふくろの味シリーズ」の中で、記事になつてしまった。ある日突然、「くるみのおはぎ」を掲載したいと、男性記者の訪問を受けた。

困ったことに、私は料理が最大の苦手、軽量観念は特に疎く、いつも目分量で通している。記者に、問われるまま、「くるみはこの位」「砂糖はこの位」「塩はこの位」などと答えた。

ところが、掲載された記事には何と「くるみ〇〇グラム」「砂糖＊グラム」「塩☆☆グラム」デジタル化されていた。これは記者の奥さんの協力に依るらしい。

私は未だに反省する事も無く、相変わらずの目分量で「くるみのおはぎ」を作り続けている。三才の孫に至つては、何よりの好物であり、自ら「ごはんのおもち」と改名までして今日に至っている。

第十四回総会・ 懇親会のご報告

事務局長 山口元彦

(横浜出身)

十四回目を迎えた今年の総会・懇親会は十月二十七日(土)、会員九十六人、真田町から十七人、他団体一人の、合計百十四人の出席で、盛大に行なわれました。

県歌「信濃の国」を斉唱し雰囲気盛り上がったところで、塩沢和政副会長の司会のもと、三井芳郎会長及び箱山好猷町長のご挨拶を受け、会務・監査報告及び事業計画と予算を審議し、満場一致で承認しました。

三井会長は、東京真田町の会が十四年間衰えることなく続いてきたのは、会員の皆様の熱意と町の支援のおかげだと感謝の気持ち述べ、さらに充実発展させていくために一層のご協力をいただきたいと挨拶しました。

箱山町長は、まず、会員のふるさとを思う熱い心への感謝の気持ちを表明されました。そして、町長としての二期目に入り、日本型食生活の追求、真田中学校の全面改築に続く本原小学校と菅平小中学校の体育館建設、中村橋の歩道設置や鳥居峠への坂道の急カーブの解消等、健康・教育・生活環境その他各分野で町発展のための事業を一層推進

していることを報告されました。さらに、会員の皆様に将来は真田町に住みたいと思ってもらえるような町づくりを力を注ぐので、皆様もご意見を寄せていただきたいとのべられました。

総会に続いて、真田町戸沢出身の歌手諏訪ひろみさんの歌謡ショーがはじまりました。諏訪さんには平成五年の第六回総会にも出演していただいたことがあります。

濃いピンクのドレスでデビュー曲「盛岡みれん」を歌いながら登場、長野冬期パラリンピック前夜祭などで歌った「時の流れに」を披露し、「北国の春」「孫」などの演歌、「白い花の咲く頃」などの懐メロ、「村祭り」などの唱歌等たくさんを歌を、体験談などを交えながら一時間わたって聴かせていただきました。途中で小林孝雄顧問が花束を贈呈し、盛岡で闘病生活をしている海軍の同期生を励ますため、諏訪さんの「盛岡みれん」のテープを送ったエピソードを紹介して、諏訪さん初め一同を感激させました。諏訪さんは、地域に根ざした活動をして、ふるさとの香りが匂うような歌を歌えるようになりたいと抱負を述べました。

そのあと小林正子理事の司会で懇親会に入り、清水清晴顧問の歓迎の挨拶、佐藤公至議長と



長野県人会連合会長羽田孜氏の代理から祝辞をいただきました。佐藤議長は祝辞のなかで、町の空気をいっぱい運んできたが、大勢の同級生や先輩と会えてふるさとへ帰ったような感じがする、会の発展を祈ると述べられました。そして柳沢實会員の音頭で乾杯し、食事をしながらの懇談となりました。

これまでテーブルによっては料理が足りないところと余るところがありましたので、今年は会場の両側に置かれたいろいろな食べ物を、各自が自分で取ってくる形にしました。面倒ですが、ずくを出しさえすれば自分の好みに応じて食べられるので、好評でした。また、料理を取りに行ったついでに別のテーブルに寄って歓談する光景も見られました。

終わりに、町長と中島正江副会長を先頭に「真田郷」の輪踊りをし、みんなで手をつないで「ふるさと」を歌ったあと万歳三唱してお開きとなり、町からのお土産のリングをいただいで散会しました。今年は都合のつかなかった方々も来年は是非おいでください。



近況報告

(出身区・田姓)

大庭今朝女(大日向・大久保)

60代も後半に突入、健康に恵まれいろいろな事にチャレンジしながらそれなりに充実した日々を送っております。今回は、久しぶりに出席します。

内海辰三(大庭)

元気で暮らしております。当日は信州へ旅行するため欠席させていただきます。ご盛会を祈り上げます。

小林重利(入軽井沢)

家族ともども元気に過ごしております。

荻原活美(穴沢)

ホテル勤務しており、忙しい時は休むことが出来ず残念です。

小坂井やえ子(曲尾・石巻)

今年は義父の13回忌法要のため欠席いたします。

飯嶋徳磨(中組)

私が幹事をしている町会のゴルフと重なり欠席いたします。

橋詰 章(横尾)

ご盛会をお祈りいたしております。

幹事役ご苦労さまです。出席したいのは山々ですが足が云うことを聞いてくれないで困ります。ご盛会を祈り上げます。

横沢正雄(大畑)

定年退職後静かに暮らしています。

北澤りん(上横道・柳原)

是非出席したく思っています

したが事情により欠席します。今回の総会を楽しみにしております。

荒木好水(曲尾・清水)

定年になってからはアルバイト、主婦、ガーデニング等して過ごしております。

吉田 操(上横道・堀内)

お世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。

阿部洋子(上横道・堀内)

元気で忙しい毎日を送っています。(趣味で忙しいのです、でも、とっても楽しいです)

堀井けさ子(田中・堀内)

いつもお世話になっております。今年も都合悪く出席できません。今後とも宜しくお願い致します。

柳橋米子(下横道・内川)

いつもお世話になります。田舎の行事と重なり残念ですが欠席いたします。楽しい会になりますように。

岡村真江(中組・斉藤)

いつもお世話様でございます。今年こそはと思いつながら残念ですが都合で出席できません。皆様方によりしくお伝え下さい。

佐藤宏次(田中)

同日、37年卒業以来初めての同級会と重なってしまい欠席いたします。皆様によりしく。

半田武男(三島平)

法事のため欠席します。ご盛会を祈念いたします。

吉川栄子(中組・武捨)

元気です。幸せです。

白井健次(曲尾)

勤務先の旅行のため残念ながら欠席させていただきます。真田町の会のご盛会をお祈り申しあげます。

堀内照雄(三島平)

老体にムチ打って生きております。皆様によりしく。

内海卯市(大庭)

おかげさまで元気ですが、他に用事があり残念ですが今回は欠席します。

木南知世(中横道・堀内)

出席したいと思っております。当日は他に用事が出来てしまい欠席いたします。

矢沢秀子(上原・清水)

いつもお世話様です。仕事の都合で出席できません。皆様方によりしくお伝え下さい。

横沢正晃(大畑)

是非出席したいと思っております。当日は結婚式出席のため残念ですが欠席いたします。

横山たか子(大畑・横沢)

真田町を離れて38年になります。今、墨田区の図書館で元気に仕事をしております。ふる里を誇りにしております。

小平京子(下横道・坂口)

年のせいか同郷の皆様にお会いしたくなりました。初めての参加ですがよろしくお願い致します。いつもご連絡ありがとうございます。

柳沢喜三郎(萩)

春と散歩の毎日、平凡な日々を送っております。

井出道子(下原・南条)

友人とお仲間にいれていたいただきます。宜しくお願い致します。

半田幸一(田中)

8月70才になりました。お陰様で元気に現役としてこの苦難の時を何とかして乗り越えようと頑張っております。幹事の皆様ご苦労さまです。また今年もさらなる元気を頂きに出席させていただきます。宜しくお願い致します。

久保定春(横沢)

近々、定年を控えています。残された分頑張ります。

長屋京子(菅平・宮沢)

いろいろ有難うございます。もう14回になるんですね、益々充実した会でありますよう祈念いたします。

壬生とりよ(戸沢・宮島)

初めて出席させて頂きます。真田をはなれて40数年、懐かしい人達にお逢いすることを楽しみにしております。

中沢欣勇(下横道)

本年の総会も盛大に、賑やかに楽しく行なわれるよう期待しております。

所 けさい(中横道・堀内)

ふるさとへは、碓氷、車坂、地蔵、鳥居などの峠越えを楽しみながら感動しております。

半田幸弘(中横道)

小生、毎月真田町に行っております。毎回山の中へ入ったりにして楽しんでおります。

堀内寅次(中横道)

いつも大変お世話さまです。総会を楽しみにしております。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

井上かつよ(田中・堀内)

秋風も爽やかになりました、役員の皆様方御苦労さまです。今年もお世話になります。どうぞ宜しくお願い致します。

増山美和子(曲尾・小林)

一年って本当に短く感じます。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。役員の皆様ご苦労さまです。

吉井きぬよ(穴沢・半田)

今年の夏は猛暑でした。いつもお世話様です。お陰さまで元気でおりますので、出席させて頂きますので宜しくお願いいたします。

松尾 昭(真田)

相変わらず菊池製作所(八王子市)に毎日通勤しています。

牧内 操(萩)

七十の手習い、我が身に鞭打ってIT革命の最前線で頑張っています。

eビジネスランド

www.ebi.jp

たすかるネット

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

www.tasukaru.net

平成12年度 決算報告書

H12年4月1日～H13年3月31日

(単位：円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費収入	650,000	417,000	総 会 費	1,200,000	987,941
総会懇親会費	1,500,000	901,000	会報発行費	700,000	548,100
真田町補助金	400,000	400,000	事 業 費	600,000	120,000
広告収入	750,000	600,000	事務通信費	500,000	236,850
寄付金等収入	150,000	110,000	印 刷 費	200,000	61,740
利息等雑収入	5,676	13,102	会 議 費	300,000	260,091
			渉 外 費	100,000	70,000
			交 通 費	100,000	59,640
			雑費・手数料	100,000	21,825
			予 備	200,000	
当期収入合計	3,455,676	2,441,102	当期支出合計		2,366,187
前年繰越額	544,324	544,324	時期繰越額		619,239
合 計	4,000,000	2,985,426	合 計	4,000,000	2,985,426

上記の通り収支決算報告いたします。

平成13年3月31日

会 計 堀内 寿美 印

上記の決算報告書は適正かつ真実であるものととめます。

監 事 関谷 義久 印

監 事 飯嶋 義道 印

平成13年度事業計画

平成13年度 収支予算

平成13年4月1日～平成14年3月31日

- ① 第14回総会及び懇親会の開催（平成13年10月27日）
- ② 会報「日本ダボス」第14号の発行
- ③ 広報誌「しらかば通信」の発行
- ④ ホームページ開設
- ⑤ 観劇会、ゴルフ会、マレットゴルフ会等会員相互の親睦をはかる行事の実施
- ⑥ ふるさと訪問の実施
- ⑦ ふるさと特産品の宅配協力
- ⑧ 真田町との交流促進のため、各種文化行事の実施と参加
- ⑨ その他

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
通常年会費収入	650,000	総会懇談会費	1,200,000
総会懇親会費	1,450,000	会報発行費	700,000
真田町補助金	400,000	事 業 費	600,000
広告収入	700,000	事務通信費	500,000
寄付金等収入	150,000	印 刷 費	200,000
利息等雑収入	30,761	会 議 費	300,000
		渉 外 費	100,000
		交 通 費	100,000
		雑費・手数料	100,000
		予 備 費	200,000
前年繰越金	619,239		
収 入 合 計	4,000,000	支 出 合 計	4,000,000

真田町インターネット情報（ホームページのURL）

<http://www.sanada.or.jp/><http://www.town.sanada.nagano.jp/>

☆新会員ご紹介お願い

「東京真田町の会」は来年で発足15周年の節目を迎えます。現在の会員数は約六〇〇名ですが、これを機に新しい会員の募集キャンペーンをすることとなりました。

会員の皆様のご兄弟、知人、同級生、学校の先輩や後輩でご入会されていない方がいましたら是非ご紹介下さい。

○対象地区は東京都だけでなく千葉、埼玉、神奈川、茨城、栃木、群馬、静岡、山梨県など関東圏にお住まいの方で、ご家族の方も一緒に入会できます。

○年会費は一〇〇〇円です。

○年一回の総会兼懇親会のほか、ふるさと訪問、ゴルフ会、マレットゴルフ会などの催しが行われています。

○入会のご連絡、お問い合わせは次の理事までお願いいたします。

塩沢和政

〒276-0045

千葉県八千代市大和田新田

TEL 047 (450) 3348

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

TEL 047 (175) 0823

～会員消息～

(敬称略)

<新入会員>

浅水みちこ (山宮)	〒120-0047	東京都足立区宮城町1-5の9号棟2の8	Tel. 03-3913-2798	(入軽井沢)
井出 道子 (南条)	〒111-0035	東京都台東区西浅草1-5-9-409	Tel. 03-3845-3556	(下原)
入山久美子 (内海)	〒175-0082	東京都板橋区高島平2-26-4-410	Tel. 03-3937-0734	(大庭)
鎌田ちえこ (坂口)	〒262-0005	千葉県千葉市花見川区こてはし台6-38-2	Tel. 043-257-7460	(三島平)
北沢 りん (柳沢)	〒372-0813	群馬県伊勢崎市葦塚町390-1		(上横道)
小林 芳治	〒305-0014	茨城県つくば市松栄679-19		(岡保)
坂口 弘	〒140-0012	東京都品川区勝島1-6-19-502	Tel. 03-3766-7804	(田中)
清水やよい (飯島)	〒206-0022	東京都多摩市聖ヶ丘3-56-7	Tel. 042-375-5413	(大庭)
塚田 靖	〒356-0058	埼玉県入間郡大井町中央3-7-34	Tel・Fax 0492-61-1982	(菅平)
徳田 初子 (小林)	〒334-0004	埼玉県鳩ヶ谷市辻912-6	Tel. 0482-82-3391	(赤井)
半沢さちこ (坂口)	〒108-0023	東京都港区芝浦2-2-15-1101		(下横道)
桃井 俊江 (牧内)	〒359-1145	埼玉県所沢市山口5002-3、27-3-102	Tel. 042-949-4920	(戸沢)
柳沢 俊美	〒356-0025	埼玉県富士見市関沢2-26-41	Tel. 0497-51-8596	(戸沢)

<住所変更>

大熊 寅男	〒370-0855	群馬県高崎市下佐野町760 堀口清様方		(真田)
小野沢和江 (塚田)	〒334-0076	埼玉県川口市本蓮3-11-1	Tel. 048-284-7231	(横尾)
倉嶋 忠好	〒240-0024	横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町116-3-502	Tel. 045-715-4388	(上原)
斉藤喜佐子 (柳沢)	〒213-0002	神奈川県川崎市高津区二子4-13-7	Tel. 044-822-5047	(戸沢)
斉藤 静子 (鳴沢)	〒340-0035	埼玉県草加市西町1026-7	Tel. 048-927-8667	(中組)
佐藤ムネ子 (矢島)	〒970-8026	福島県いわき市平字城東3-2-3-406	Tel. 024-621-4742	(真田)
坂口 雅彦	〒272-0137	千葉県市川市福栄2-20-1-307	Tel. 047-359-8977	(真田)
堀内 実男	〒115-0043	東京都北区神谷3-11-1-402		(田中)
三井 毅	〒121-0823	東京都足立区伊興5-12-3-202	Tel. 03-3897-0573	(大庭)
宮本四万子 (大久保)	〒179-0074	東京都練馬区春日町5-6-14		(大日向)

<退会者> 長い間会にご協力くださりありがとうございました。くれぐれもご健康にご留意ください。

内川 敬代・小山 邦子・桜 英子・清水 一重・関本 周子・関 恵子・塚田 勝人・永戸 富江
野山 妙子・橋詰 昌徳・堀内 ひろ・丸山 慶三

<物故者> 会員一同心よりご冥福をお祈りいたします。

愛甲 かず(H13.8.5)・荒木 孝一(H13.10.27)・石垣 節子(H13.10.16)・片山 決子(H12.8.14)
白井 実(H13.1.14)・三井 まつ子(H12.7.15)・横沢 まつ(H13.2.25)

次回総会の予告

平成14年の総会、懇親会は
6月16日(日)、アルカディア
市ヶ谷(私学会館)で開催いた
します。今から予定に入れてお
いて下さい。詳しくは4月に発
行の「しらかば通信」6号でお
知らせします。

年会費納入のお願い

総会に欠席の方で平成13年
度の年会費千円を未納の方は同
封の郵便振替用紙にてお振込み
下さい。振込料は無料です。よ
ろしく願います。

広告御礼

日本ダボス14号の発行にあ
たり広告をお願いしたところ大
勢の皆様のご協力をいただきあ
りがとうございました。心より
御礼申し上げます。

寄付御礼

左記の方よりご寄付を頂き
ました厚く御礼申し上げます。
羽田 孜様 一万円(会費)
青柳 充紀様 一万円

原稿のお願い

日本ダボス15号・しらかば通信
の原稿を募集しています。感
想、紀行文、思い出、近況など。
日本ダボス最大2400字以内
しらかば通信最大800字以内

長短自由です。左記編集部まで
お寄せ下さい。
〒192・0354
東京都八王子市松が谷

TEL・FAX 0426(77)7113
2511103
大久保 治夫

編集後記

本号は総会の関係でスター
トが2週間遅れてしまい、どう
なるかと心配したが、皆さんか
らの寄稿も順調であったお陰
で、例年どおりに発行すること
が出来ホッとしております。

今年も総会に出席して頂い
た方を一人でも多く載せられ
たと無理をしました。それでも
載らない方がおいででしたらご
容赦下さい。

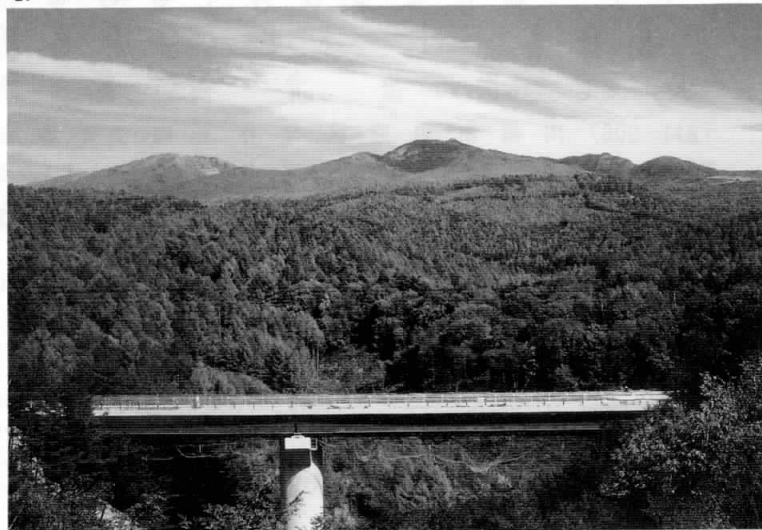
表紙の写真はふるさと訪問
の折に撮影したもので、私達が
編集を担当して始めて自前の写
真を使うことが出来ました。出
来栄は如何でしょうか?

今回も大勢の皆様から素晴
しい原稿をお寄せ頂きました。
また、真田町情報政策課渡辺さ
んをはじめ大勢の皆様のご協力
を頂きました。心から御礼申し
上げます。

次号にも素晴らしい原稿をお
待ちしております。
ご意見、ご希望がございま
したらお知らせください。

祝 東京真田町の会 一会報14号一

緑豊かで快適な住み良い住宅環境『真田町』



平成13年 11月 竣工 菅平（猿飛橋）

ゆったりとした100坪の住宅地を提供して28年 507区画分譲の実績

高速道路・新幹線の開通により、都会と故郷の距離は大幅に短縮されました。

真田町は福祉サービスの行届いた町です。

この機会に、住宅をお求めになり緑豊かな四季折々の景色を眺めながらの生活をお望みの方ご紹介も含めて、ご相談に応じさせていただきます。

このたびは、現在分譲受付中の団地についてご案内申し上げます

1. いずはや団地 (第3期、第4期)	分譲区画数 所在地 価格及び面積	6区画 真田町 大字 本原 字 東出早 (出早区) 平均坪単価 138,000 円 平均面積 329.24 m ² (99.59 坪)
2. はけた団地 (第3期)	分譲区画数 所在地 価格及び面積	2区画 真田町 大字 本原 字 刷毛田 (下原区) 平均坪単価 159,000 円 平均面積 327.60 m ² (99.10 坪)
3. かぶといし団地	分譲区画数 所在地 価格及び面積	1区画 真田町 大字 長 字 甲石 (石舟区) 平均坪単価 130,000 円 平均面積 371.44 m ² (112.36 坪)
4. なかむら団地	分譲区画数 所在地 価格及び面積	2区画 真田町 大字 傍陽 字 中村 (萩区) 平均坪単価 105,000 円 平均面積 300.80 m ² (90.99 坪)

お問い合わせ・お申し込みは

真田町土地開発公社

長野県小県郡真田町大字長 7178-1
TEL 0268-72-2200 (内線 251・252)
FAX 0268-72-4140

祝 東京真田町の会 一会報14号一

T K C パートナー 会計グループ

パートナー制による税理士等の事務所
 (株) T K C 東京パートナー会計事務所
 T K C 医療介護総研(株)

〒211-0067 川崎市中原区今井上町34番地

TEL 044(733)1101: FAX 044(733)1102

パートナー代表取締役所長 **関谷義久**(戸沢出身)

住所 〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-404-4 パロス 103 TEL044(711)0055

いよいよ21世紀に突入しました。私たち職業会計人(税理士・公認会計士)の法制も大きく変わることが決定されたところです。敗戦から55年という長い年月が過ぎ、経済発展を担った日本の中小企業を、経営面から支えてきた税理士が、これから制度面で大きく変身するものと見られています。それは、今まで一人で、一ヶ所の事務所でしか仕事をするのを許されず、広範で多様なニーズに応えられなかった税理士が、ここに来てようやく共同形態、つまり法人組織で多面的に有用な仕事ができるようになったのです。長い年月を規制制度の中で過ごし、今や世界で最も遅れてしまった職業会計人の活動が、これから大きく変わっていくものと思われます。当グループも、これから、日本全国を活動舞台として、世界に向け、大きく羽ばたこうとしています。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

(所属グループと役割)

税理士と公認会計士の組織 TKC全国会
 TKC神奈川会と全国会の顧問

社団法人日本医業経営コンサルタント協会
 常務理事・神奈川県支部長



貿易と国際物流のコンサルタント

貿易物流研究所

所長 **小林孝雄**(曲尾出身)
 (東京真田町の会 顧問)

〒234-0051 横浜市港南区日野4-45-5

TEL:(045)843-8041

FAX:(045)843-8041

祝 東京真田町の会 一会報14号一

東京真田町の会 半田幸弘 (中横道出身) 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢四一三一四 TEL ○四二一九四五一一二四二五	有限会社 山中製作所 代表取締役 宮本優 (大日向出身) 〒360-0201 埼玉県大里郡妻沼町大字江波三七五一五 TEL ○四八八八八八一〇一五五 FAX ○四八八八八八一八五一九	土地・建物・測量・登記 飯嶋測量事務所 土地調査士 飯嶋義道 〒230-0072 横浜市内見区梶山二一三八一十一 TEL ○四五五八八一〇三二四 TEL ○四五五七一五〇五五	◎点字印刷で 社会福祉事業に貢献する 国際浮出印刷株式会社 代表取締役 飯嶋徳磨 (中組出身) TEL 会社 ○三一三九二一八七七 TEL 自宅 ○四八一二六五二三三七四	東京真田町の会 理事 武捨衛人 (中組出身) 〒359-1145 所沢市山口五〇四〇一三九一五一四〇五 TEL ○四二一九四九一四七六七
東京真田町の会 理事 大久保治夫 (大日向出身) 〒192-0354 東京都八王子市松が谷二五一一一〇三 TEL・FAX ○四二二六一七七七一三三	東京真田町の会 理事 一級建築士 荻原啓治 (四日市出身) 〒168-0063 東京都杉並区和泉四一四二一三一一三〇一 TEL ○三三三三一五一五九九三〇	ビューティサロン テラ 東京真田町の会 理事 柴田小夜子 (菅平出身) 〒155-0031 東京都世田谷区北沢一三三一一十三 TEL ○三三四六七四〇三三五	 デイルマン ☆本格的紳士服・婦人服オーダーメイド Tel ○三三三九一八一一八六〇 ☆直し専門センター Tel ○三三三九一八一一二五五 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨四一三五一一二 久保隆司	東京真田町の会 理事 飯島慶三郎 (下原出身) 〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町二一三三一一十八 TEL ○四二二二二一一八五九七
東京真田町の会 顧問 清水清晴 (中横道出身) 〒201-0002 東京都狛江市東野川三一二二二 TEL ○三三三四八九一〇七六三	東京真田町の会 理事 鈴木邦子 (横尾出身) 〒174-0052 東京都板橋区蓮沼町十七一十二 TEL ○三一五九七〇一六九六九	東京真田町の会 理事 塚田恒雄 (横尾出身) 〒277-0063 千葉県柏市西山一十一一十八 TEL ○四七七一七五〇八二三	メナード化粧品 等々力駅前代行店 東京真田町の会 副会長 中島正江 (戸沢出身) 〒158-0091 東京都世田谷区中町四一三五一十七E TEL・FAX ○三三三七〇二一一三八五	ロシア料理 渋谷ログスキー 副社長 調理部長 長屋京子 (菅平出身) 本館 渋谷駅南口日本交通公社前大和田ビル2F 渋谷区桜丘十六一十三大和田ビル2F TEL ○三三三四六三一二九一一

祝 東京真田町の会 一会報14号一

人と地球に思いやりある環境づくりを目指して
資源愛護と環境保全は企業の責任

一般貨物運送事業、リサイクル推進事業、一般・産業廃棄物収集運搬

電気自動車 メタノール自動車 CNGトラック

平成9年度東京都環境賞 受賞・東京都知事賞 受賞・板橋区環境保全優良事業所

みすゞ興業株式会社

代表取締役 荒木 廣之 (真田町下原出身)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡2-10-7 TEL 03(3966)2422 FAX 03(3966)2423
自宅TEL 03(3965)4692



勝田電設工業株式会社

電気設備工事設計施工

代表取締役会長 塩 沢 和 政 (大日向出身)

東京真田町の会 副会長

本 社 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町37番2号
TEL・03(3652)8676 FAX・03(3656)3360
東京支店 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町37番2号
TEL・03(3652)8679 FAX・03(3655)8328
千葉支店 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋3丁目39番16号
TEL・047(423)1755 FAX・047(423)0092

茨城支店 〒305-0062 茨城県つくば市大字赤塚610番3
TEL・0298(36)4737 FAX・0298(36)4549
銀座営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目3番3号伊東ビル6F
TEL・03(3561)5822 FAX・03(3561)5832
木更津営業所 〒299-0231 千葉県袖ヶ浦市下泉字勝下20-2
TEL・0438(75)6600 FAX・0438(75)6914

ワシントンポスト紙 (USA) 広告代表

メディア (Hong Kong) 広告代表

株式会社 エム エム アイ

東京真田町の会 会長 三 井 芳 郎 (大庭出身)

自 宅：156-0055 東京都世田谷区船橋1-48-31 TEL03-3482-9333
事務所：103-0026 東京都中央区日本橋兜町19-8 八重洲KHビル (7F)
TEL 03-3664-0369 FAX 03-3664-6063

祝 東京真田町の会 一会報14号一

(株)アップルサイエンス (コンピュータ関連) 代表取締役 社長 山岸 栄 本社 真田町 傍陽 五〇八五 営業所 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木九二二一 電話 〇四九二一七九一三三三八	埼玉工業大学 工学部電子工学科教授 東京真田町の会 理事 深町 共榮 〒366-0052 深谷市上柴町西五〇七七八二 TEL 〇四八一五七二一七五〇	東京真田町の会 理事 司法書士 堀内 寿美 (上横道出身) 〒151-0053 東京都渋谷区代々木二一〇一十九 東洋ビル四〇二号 TEL 〇三三三七九一八二	株式会社東部財務情報センター 堀内税務会計事務所 (中横道出身) 堀内 茂雄 〒130-0002 東京都墨田区業平四一九一三 仮事務所・墨田区吾妻橋三二一五二〇二 TEL 〇三三六二五二二九一 FAX 〇三三六二二一〇一六四	火災・生命保険・傷害・自動車保険代理店 堀内 寅次 (中横道出身) 〒330-0825 大宮市東新井九三九一六四 TEL 〇四八一六八五二二八二 FAX 〇四八一六八七一九二二
国画水墨院理事 日本選抜美術家協会専務理事 国際美術大賞展理事 画家 森本 幹生 (入軽井沢出身) 〒211-0062 川崎市中原区小杉陣屋町一六八八 TEL 〇四四一七三三三〇二六七	新お茶の水法律事務所 東京真田町の会 理事 弁護士 山口 元彦 (横沢出身) 〒113-0033 東京都文京区本郷二一三三四十湯浅ビル五階 TEL 〇三三三八一五三三四(代表) FAX 〇三三三八一五三三四一	東京真田町の会 理事 小林 正子 (下横道出身) 〒349-0217 埼玉県南埼玉郡白岡町小久喜七六六一 TEL 〇四八〇一九二一〇八四	御殿場市・裾野市・小山町 長野県人会 顧問 柳澤 喜三郎 (秋出身) 〒412-0045 静岡県御殿場市川島田七四八一二 TEL 〇五五〇一八三三〇〇八一	東京真田町の会 理事 堀内 福 (下横道出身) 〒350-1308 埼玉県狭山市中央三二七一二〇三 TEL 〇四二一九五八一五七八

真田温泉健康ランド ふれあいさなだ館

長野県小県郡真田町大字長7369-1 TEL.0268(72)2500
有線 2230



育ててください

ふるさと結ぶホットラインに

*ふるさと宅急便

*特産物の開発・販売



長野県小県郡真田町大字長七二七八番地の一

財団法人 真田町振興公社

TEL (〇二六八) 七二二二〇〇
内線 二六一

益々躍進を続ける 真田不動産グループ

本社2番館ビル竣工



1番館

- 1F ●特選輸入洋品 WAKO ショールーム ☎03-3620-2411
●総合不動産業 株式会社 真田不動産 ☎03-3620-2511
2F 貸事務所 (歯科医院)
3F~6F IMPERIAL HORIUCHI (賃貸マンション25室所有)

2番館

- 1F 店舗
2F~6F IMPERIAL HORIUCHI (賃貸マンション28室所有)



株式会社 真田不動産

代表取締役 堀内 政

〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-30-8 (WAKO真田ビル1階)

http://www.sanada-fudosan.com

自宅: 足立区青井4-4-10 03-3840-3211

2番館

1番館

WAKO真田本社ビル

新規事業: 東京地裁民事21部東京23区全域 不動産競売物件取扱業務

真田本社ビル<2番館>竣工1周年記念企画<全物件売上> ※広告掲載以前に売却の場合はご容赦ください。現況を優先とします。



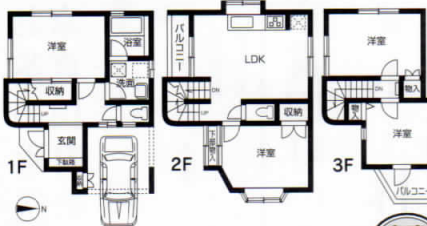
JR総武線「小岩」駅徒歩18分

- 物件概要
- 所在地/江戸川区東小岩1-22-18
- 交通/JR総武線: 小岩駅徒歩18分
- 土地面積/57.00㎡ (17.2坪)
- 土地権利/所有権
- 建物/木造スレート葺3階建
- 建物面積/延べ90.73㎡
- 用途地域/第1種中高層住居専用地域
- 建ぺい率/70%
- 容積率/150%
- 設計/有限会社 和光
- 施工/株式会社丸若建設
- 完成予定/平成13年9月末日予定

価格4,380万円(税別)

前面に親水緑道公園、日当たり最高!!

新発売



限定1棟、豪華INAX製、前面ボーダータイル貼。

●設備・仕様

- 玄関天然大理石貼●全室照明●ハイセンスニッチ2カ所付●システムキッチン
- トイレ・ウォシュレット●シャブードレジャー●TVモニター付インターホン
- ユニットバス(TV付)●外壁 INAX製ボーダータイル貼●オリジナル壁紙込椅子

南大塚 価格5,850万円(税別)

陽当り最高、リフォーム済
大型車庫2台駐車可 (RV・ワゴン可)
人気の東横線渋谷まで3駅



荻窪 価格4,800万円(税別)

陽当り良好、リフォーム済
5DK、大型車庫(ベントOK)
閑静な住宅地、住環境良好



東陽町 価格4,980万円(税別)

西側6m公道、
鉄骨4階建外壁タイル貼、
ゆとりの4LDK



豪華注文住宅

青砥 価格1,980万円(税別)

南向き3LDKマンション、高級総タイル貼、
陽当り良好、住環境良好、オートロック
●物件概要●所在地/葛飾区白鳥4-13-20●交通/京成本線:
●駅徒歩15分●土地面積/978.30㎡ (292.8坪)●建物/2,206.51㎡●用途地域/工業地域●建ぺい率/60%●容積率/200%●その他/第3種高度地区●準防火地域●設備/東京電力/東ガス/公営水道●築年月/平成8年3月

目白 価格3,450万円(税別)

新築、閑静な住宅地、住環境良好
●物件概要●所在地/豊島区目白4丁目35-18●交通/JR山手線: 目白駅徒歩10分●土地面積/41.45㎡●土地権利/所有権●建物/木造2階建●建物面積/延べ49.26㎡●用途地域/第1種低層住居専用地域●建ぺい率/60%●容積率/300%●その他/準防火地域●築年月/平成13年6月●道(位置指定道路)●完成/平成13年6月

地下鉄大江戸線 価格5,580万円(税別)

麻布十番 価格5,580万円(税別)
3駅利用、ゆとりの4LDK、カーブス有
●物件概要●所在地/港区麻布十番2丁目14-11●交通/地下鉄大江戸線: 麻布十番駅徒歩9分●土地面積/59.96㎡●土地権利/所有権●建物/鉄骨コンクリート造3階建●建物面積/90.88㎡●用途地域/準工業地域●建ぺい率/60%●容積率/400%●その他/内装は当社仕様のハイセンスな住宅を全面改築したものです。●築年月/昭和44年3月

今期販売実績 (H13年6月末現在)

- ★大田区東雪谷3丁目/戸建
- ★江東区古石場1丁目/鉄骨3階建
- ★練馬区石神井7丁目/戸建
- ★江東区北砂5丁目/鉄骨3階建
- ★江戸川区船堀2丁目/新築

上記の売却物件は東京地裁よりの競売に依る買受です。ホームページ、尚、競売不動産についてのご相談に応じております。

販売予定

- 江東区南砂3丁目/鉄骨3階建
- 墨田区墨田3丁目/鉄骨3階建(商談)
- 江戸川区南葛西6丁目/マンション
- 世田谷区桜2丁目/戸建
- 江東区亀戸3丁目/戸建(契約済)

ホームページ
http://www.sanada-fudosan.com

(社) 日本不動産協会(社) 不動産保証協会会員
東京都知事免許(4)第55677号

お申し込み・お問い合わせ

TEL. 03(3620)2511 (代)
◆東京都足立区綾瀬6-30-8 (真田本社ビル1F)
広告有効期間: 平成13年6月末日

IMPERIAL HORIUCHI

株式会社 真田不動産



(平成13年7月・読売新聞東京23区全域に掲載)

日本ダボス 平成13年12月25日発行

発行 東京真田町の会 会長 三井芳郎

〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-48-31 TEL・FAX 03-3482-9333

編集委員 大久保 治夫 中島 正江 柴田 小夜子

印刷 上田市・(中)中沢活版所